

(お知らせ)

「子どもの健康と環境に関する全国調査」に係る仮説の公募について

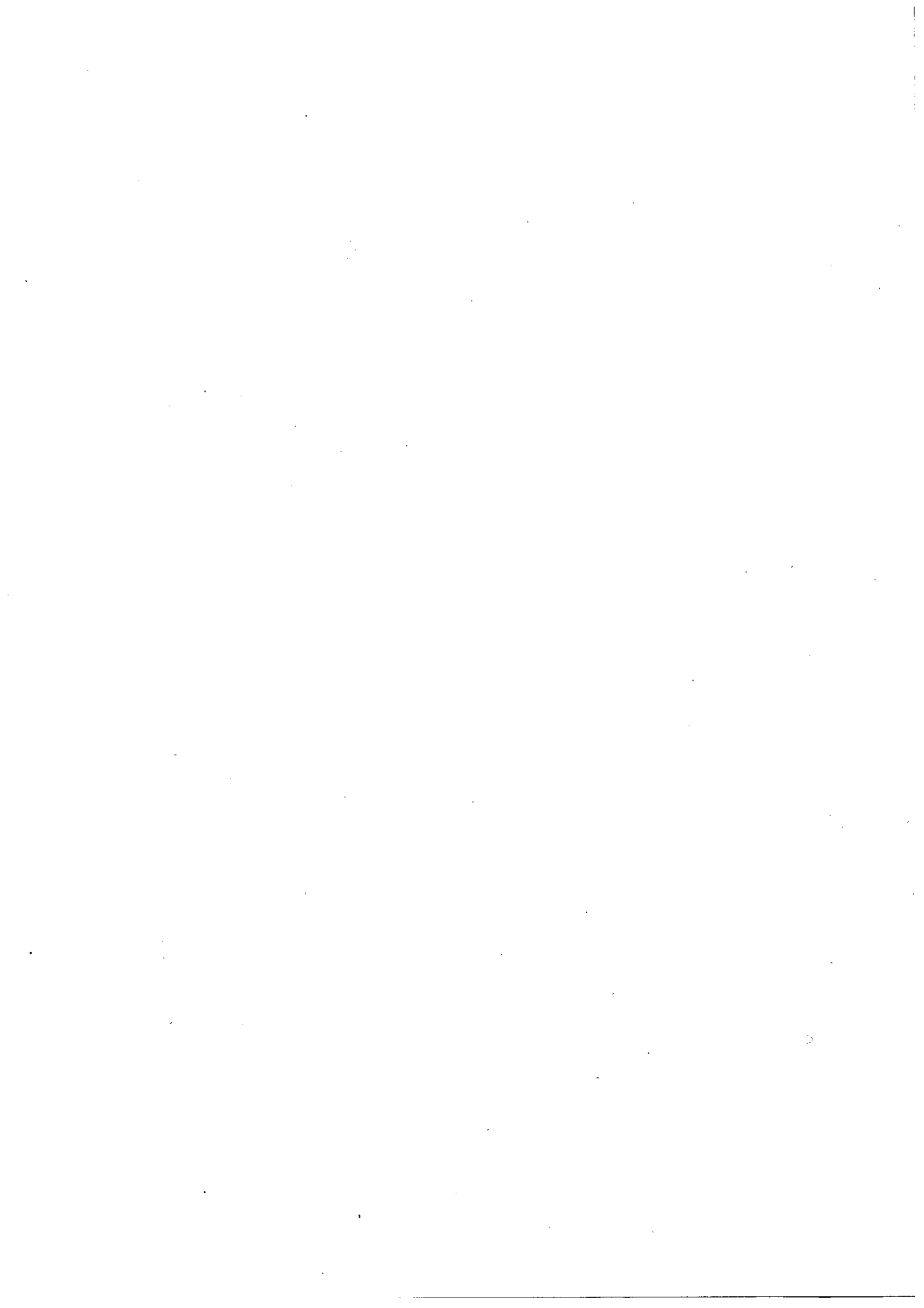
平成20年10月16日(木)  
環境省総合環境政策局環境保健部  
環境安全課環境リスク評価室  
直 通 03-5521-8263  
代 表 03-3581-3351  
室 長 塚本 直也(内線 6340)  
室長補佐 長谷川 学(内線 6343)

環境省では、平成22年度から「子どもの健康と環境に関する全国調査」を開始する予定です。調査に先立ち、子どもの健康に悪影響を与える環境要因としてどのようなものを心配されているのか、広く国民のご意見を伺うことを目的として、以下のとおり調査の仮説を公募します。

近年、子どもの先天異常や発達異常が増加していますが、その原因として環境中の化学物質に対する関心が高まっています。

環境省では、子どもの発育・発達に対して環境要因がどのような影響を与えるのかを明らかにするために、平成22年度から「子どもの健康と環境に関する全国調査」を開始する予定です。

調査に先立ち、どのような環境要因を調査の対象とすべきと考えるか、広く国民のご意見を伺うとともに、専門家からの具体的な調査仮説の提案を求めるため、平成20年10月16日(木)から12月22日(月)まで別添の要綱のとおり調査の仮説を公募します。



(別添)

## 「子どもの健康と環境に関する全国調査」(環境省)に係る仮説の公募要綱

### 1. 仮説の公募について

近年、子供に対する環境リスクが増大しているのではないかとの懸念があり、環境中の有害物が子どもの健康に及ぼす影響について大きな関心が払われています。

環境省では、子どもの発育に与える環境リスクを明らかにするために、平成20年度から平成21年度の2年間を準備期間とし、平成22年度から「子どもの健康と環境に関する全国調査」(環境省)を開始する予定としています。

調査に先立ち、どのような環境要因を調査の対象とすべきと考えるか、広く国民のご意見を伺うとともに、専門家からの具体的な調査仮説の提案を求めるため、仮説を広く公募します。

なお、環境省では、基本的な調査の課題(中心課題)を次のとおり設定しています。環境省が設定している中心課題のなか、またはそれ以外の要因(遺伝要因、社会要因、生活習慣要因等)でも構いませんので、検証が必要と考えられることを仮説としてご提案ください。

環境省があらかじめ設定している中心課題(環境要因と健康影響)

- ① 化学物質ばく露と性の決定
- ② 化学物質ばく露と妊娠異常(流産・早産・死産、妊娠高血圧症候群(妊娠中毒症)等)
- ③ 化学物質ばく露と発育障害(低出生体重・出生週数の早期化、身体発達)
- ④ 化学物質ばく露と先天異常
- ⑤ 化学物質ばく露と精神発達障害
- ⑥ 化学物質ばく露と免疫系の異常(小児アレルギー(アトピー・喘息等)、感染症)
- ⑦ 化学物質ばく露と代謝・内分泌系の異常(甲状腺機能の異常、耐糖能の異常、若年糖尿病、若年性肥満)
- ⑧ 化学物質ばく露と不妊
- ⑨ 化学物質ばく露と脳の形態異常
- ⑩ 騒音ばく露と精神神経発達異常

### <参考>

- (1) 小児環境保健疫学調査に関するホームページ

<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/index.html>

- (2) 小児環境保健疫学調査に関する検討会報告書

<http://www.env.go.jp/chemi/report/h20-02.pdf>

(3) 小児環境保健に関する懇談会報告書

<http://www.env.go.jp/chemi/report/h18-04/index.html>

2. 公募要件

(1) 仮説提案書の提出

一般の方は、一般の方用提案書（別紙1）、研究者、医師など、専門的知識をお持ちの方は専門家用提案書（別紙2）を使用していただき、提案書の記載項目と記載要領に従って必要事項を記入してください。なお、複数の仮説提案がある場合は、仮説提案毎に提案書を作成して下さい。

(2) 応募受付期間

平成20年10月16日(木)～12月22日(月)

(3) 提出先

[hoken-risuku@env.go.jp](mailto:hoken-risuku@env.go.jp)

※ メールタイトルは「小児環境保健疫学調査の仮説提案（所属・氏名）」としてください。  
また、メールの容量が2MBを超える場合又はメールが使用できない場合は、仮説提案書をCD-Rに記録し、下記あてに郵送してください（12月22日(月)消印有効）。

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2  
環境省環境保健部環境リスク評価室「子どもの健康と環境に関する全国調査」係

※ パソコンがご使用できない場合は、郵送での受け付けも致しますのでご相談ください。

3. 仮説提案の採択

公募要件を満たした仮説提案について、小児環境保健疫学調査に関するワーキンググループ及び小児疫学調査に関する検討会において学術的に審査し、行政的観点から採択します。

4. 仮説提案採択後の流れ

採択された仮説提案は平成22年度から本格実施する「子どもの健康と環境に関する全国調査」（環境省）の調査仮説に採用させていただきます。採択された仮説提案は、小児環境保健疫学調査に関する報告書及び環境省のホームページに公表致します。

5. その他

審査及び採択の過程についてのお問い合わせには応じられませんので、あらかじめご承知願います。

「子どもの健康と環境に関する全国調査」(環境省)で調べたらよいこと  
(一般の方用提案書)

これは一般の方から広く提案を受けるための用紙です。

研究者、医師など、専門的知識をお持ちの方は「子どもの健康と環境に関する全国調査」(環境省)で検証すべき仮説提案書(専門家用)を使用して下さい。

提案者	氏名： 職業 住所 電話番号 FAX E-mail：
小児の健康と環境からの影響の関係で、気になることを書いてください。	
原因となる環境要因は何だと思えますか？	
その原因によって、小児にどのような健康影響が現れると思えますか？	
そう考えるのはどうしてですか？ 実際に裏づけとなる現象をご存知ですか？ 本や雑誌の記事などで関連する情報を読んだことがありますか？ 具体的に教えてください。	

本提案書が仮説提案として採択された場合は、小児環境保健疫学調査に関する報告書及び環境省のホームページに公表いたします。



別紙 2

「子どもの健康と環境に関する全国調査」(環境省)で検証すべき仮説提案書  
(専門家用)

これは研究者、医師など、専門的知識をお持ちの方から提案を受けるための用紙です。

一般の方は「子どもの健康と環境に関する全国調査」(環境省)で調べたらよいこと(一般の方用提案書)が使用できます。

全項目をご記入ください。

提案者	氏名： 住所 電話番号 FAX番号 E-mail： 所属：	
仮説		
ばく露(エクスポージャー)		調査すべき要因の種類、調査方法(試料の種類、採取時期、量及び頻度等)をご記入ください。
健康影響指標(アウトカム)		調査すべき健康影響指標(アウトカム)の種類、調査方法をご記入ください。
小児の環境保健における重要性		有病率/発症率、大規模疫学調査の必要性、医学・科学領域への寄与、研究の発展性、社会的意義等についてご記入ください。
交絡因子、その他の留意点		子どもの健康と環境に関する全国調査において本仮説を検証しようとした場合、留意すべき点をご記入ください。
解析力、サンプル数、調査方法等		子どもの健康と環境に関する全国調査において本仮説を検証しようとした場合、必要とされるサンプル数の根拠、具体的な調査方法等をお示しください。
中心課題の No.		子どもの健康と環境に関する全国調査において例示されている中心課題に該当するのであればその No.をご記入ください。

本提案書が仮説提案として採択された場合は、小児環境保健疫学調査に関する報告書及び環境省のホームページに公表いたします。

参照文献リスト：上記内容について、根拠となる関連論文の主要なものをお示してください。

1	タイトル	
	著者、所属	
	Journal, Vol. Page, Year	
	概要（対象、人数、調査方法、結果、評価）	
2	タイトル	
	著者、所属	
	Journal, Vol. Page, Year	
	概要（対象、人数、調査方法、結果、評価）	
3	タイトル	
	著者、所属	
	Journal, Vol. Page, Year	
	概要（対象、人数、調査方法、結果、評価）	



4	タイトル	
	著者、所属	
	Journal, Vol. Page, Year	
	概要（対象、人数、調査方法、結果、評価）	
5	タイトル	
	著者、所属	
	Journal, Vol. Page, Year	
	概要（対象、人数、調査方法、結果、評価）	
6	タイトル	
	著者、所属	
	Journal, Vol. Page, Year	
	概要（対象、人数、調査方法、結果、評価）	

(6つ以上ある場合は、コピー&ペーストで記入欄を作成下さい)

